

厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業))

「社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する

国際疾病分類の国内導入のための研究」

分担研究報告書(令和2年度)

ICD改訂と国内導入に関する動向整理

ICD-11 導入における医学用語集の改訂に関する研究

研究分担者 小松雅代 大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座環境医学

研究要旨

ICD-11に含まれるV章は生活機能分類を示すものであるが、その活用と運用についてはV章のコードだけでなくICD-11全体の構造を理解することが必要である。今回、V章の構造を既存の評価尺度を用いて詳細に分析を行うとともに、ICD-11に含まれるV章以外の生活機能に関する項目 impact について分析を実施した。ADL 評価尺度である FIM を用いて V 章コードの構造を分析したところ、V 章コード1つに対して FIM には複数の ICF コードが含まれていたこと等を勘案すると、V 章コードを用いた評価においては、粒度の観点からの分析が重要となる。また、ICD-11に含まれる生活機能を示す impact を選択すると複数の疾患に ICF コードが示されたことから、impact と V 章の関連性についても分析を重ね、ICD-11 全体としての生活機能に関する構造分析を図ることが求められる。

A. 研究目的

ICD の改訂により ICD-11 に生活機能分類を示す『V Supplementary section for functioning assessment(生活機能評価に関する補助セクション)』(V 章) が導入された。本研究は、V 章を詳細に分析し、国内適用に向けて実際の活用事例を用いて、ICD と ICF の相互利用の方向性を考察することを目的としている。

また、V 章以外に、ICD-11 全体の生活機能に関する構造について明らかとすることを目的とした。

B. 研究方法

機能的自立評価として広く使用されている FIM (Functional Independence Measure) について、評価対象者や作成された背景、使用方法と評価方法等を調べ、ICF コーディングを行った。さらにコーディングを行ったコードと V 章との整合性を確認した。ICF コーディングは、専門家より ICF について説明を受けた医療関係者、医療有資格者、

専門家(医療関係者)の3名にて実施した(表)。

また、V 章に含まれる生活機能項目については、ICD-11 Foundation Advanced Search から、10 の impact (Communication Impact、Interpersonal Relations Impact、Household Activities Impact、Life Management Activities Impact、School Activities Impact、Work Activities Impact、Mobility Impact、Self-Care Impact、Social Participation Impact、Understanding Impact) を選択し、各章の疾患別 impact の検索を行った¹⁾²⁾ (図)。

(倫理面への配慮)

本研究は疾病分類・生活機能分類の分析が研究主体であり、倫理的配慮は必要としない。

C. 結果

FIM を用いた3名による ICF コーディングの比較分析は、全員のコードが一致したのは FIM18 項目のうち12項目(66.7%)であった。一致しなかった項目は、排泄の「排尿コントロール」、「排便コントロール」、移乗の「トイレ」、「浴槽・

シャワー」、コミュニケーションの「理解」、社会認識の「社会的交流」で、多くの項目で医療関係者と医療有資格者は、専門職と比較して選択した ICF コード数が多かった。

FIM 項目の ICF コードと V 章コードとの一致率は 83.3%であった。一致しなかった項目は、排泄の「排便コントロール」、移乗の「階段」、コミュニケーションの「表出」であった。

ICD-11 Foundation の Advanced Search にて、生活機能に関する 10 項目の impact を検索したところ、ICD-11 MMS の 12 の章の疾患が該当した。該当した章は、1 章(Certain infectious or parasitic diseases)、2 章(Neoplasms)、5 章(Endocrine, nutritional or metabolic diseases)、6 章(Mental, behavioral or neurodevelopmental disorders)、8 章(Diseases of the nervous system)、10 章(Diseases of the ear or mastoid process)、11 章(Diseases of the circulatory system)、12 章(Diseases of the respiratory system)、13 章(Diseases of the digestive system)、15 章(Diseases of the digestive system)、20 章(Developmental anomalies)、21 章(Symptoms, signs or clinical findings, not elsewhere classified)で、生活機能コードがついていたのは 32 疾患であった。

該当するコードは、すべて「d (活動と参加)」コードで全 376 コードであった。最も多く使用されていたのは「4 運動・移動」d450(Walking)の 12 回で、以下、「7 対人関係」d770(Intimate relationships)11 回、「8 主要な生活領域」d845(Acquiring, keeping and terminating a job)9 回、d710(Basic interpersonal interactions)、d859(Work and employment, other specified and unspecified)がそれぞれ 7 回と続いた。

D. 考察

今回、FIM による ICF コーディングを複数の医療関係者にて実施し、①専門家と比較して、医療関係者と医療有資格者ではコードを幅広く解釈する傾向があること、②国際生活機能分類の書籍(世界保健機構発刊の赤本)の改訂と発刊が行われていないため、新たに追加されたコードの分類について認知困難、認知不十分であることが窺えた。

また、評価尺度項目について詳細に分析したところ、①FIM の排泄に関する項目では、1 つの項

目に「d (活動と参加)」と「b (心身機能)」の内容が含まれていることから、ICF コーディングの際に 3 名の選択コードにばらつきがみられたこと、②FIM の移乗の項目には、3 つの項目(ベッド・椅子・車椅子、トイレ、浴槽・シャワー)があり、FIM による補足説明を解釈すると「d420 乗り降り(移乗)」だけではなく、「d410 基本的な姿勢の変換」が含まれると判断できるため、FIM の使用目的も考慮するとコード分類が異なることが窺い知れた。

ICD-11 には、V 章以外にも一部の疾患(32 疾患)には生活機能に関する impact が含まれていることが明らかとなった。Impact にチェックを入れ、検索された疾患に附与された ICF コードはすべて「d (活動と参加)」であったが、疾患別の生活機能の特徴を数的に評価する基準項目として活用できることも示唆された。今後は、impact と V 章との関連を分析し、相互利用と活用に向けた検討を行う必要がある。

E. 結論

V 章の活用を図るには、ICD-11 全体として生活機能に関する全体像を理解し、可能な限り相互利用できる仕組みを構築することが重要である。

また、FIM の「移乗」では、3 つの項目すべてが V 章コードでは「VC20」となり粒度が大きくなる。この一例の様に、V 章による粒度評価が妥当かについては、複数の評価尺度や実際の疾患によるデータを用いて、今後分析を重ね十分検討することが求められる。

参考資料

- 1) ICD-11(Foundation)
<https://icd.who.int/dev11/f/en/> 2020.9.7 accessed.
- 2) ICD-11 for Mortality and Morbidity Statistics (ICD-11 MMS) 2018 version.
<https://icd.who.int/browse11/l-m/en> 2020.9.7 accessed.

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

- | | |
|--|-----------------|
| 1. 論文発表 | 1. 特許取得 |
| 1) 小松雅代、小川俊夫、城島哲子、今村知明.
ICD-11 V 章の意義と、ICD-11 と ICF 連携の
可能性. 医療情報学. 2020. Nov ; 40(Suppl.) :
315-320. | なし |
| 2) 小川俊夫、今井健、滝澤雅美、小松雅代、今
村知明. ICD-11 国内適用に向けた日本語化
の検討. 医療情報学. 2020. Nov ; 40(Suppl.) :
304. | 2. 実用新案登録
なし |
| | 3. その他
なし |

2. 学会発表

- 1) 小松雅代、小川俊夫、城島哲子、今村知明.
ICD-11 V 章の意義と、ICD-11 と ICF 連携の
可能性. 2020 年 第 40 回医療情報学連合大会
(第 21 回日本医療情報学会学術大会). 公募
シンポジウム.
- 2) 小川俊夫、今井健、滝澤雅美、小松雅代、今村
知明. ICD-11 国内適用に向けた日本語化の
検討. 2020 年 第 40 回医療情報学連合大会
(第 21 回日本医療情報学会学術大会). 公募
シンポジウム.

H. 知的財産権の出願・登録状況

表 評価尺度 (FIM) を用いた ICF コーディングと V 章コードの一覧表

FIM(Functional Independence Measure)：機能的自立度評価表

Grangerらによって開発されたADL評価法。特に介護負担度の評価が可能であり、ALD法の中でも、最も信頼性と妥当性があると言われ、リハビリの分野などで幅広く活用されている。

一臨床母集団のみ（どの疾患にも適応できる）を対象とする（対象の年齢は7歳以上、それ未満はWee FIM）

質問項目	Component	Chapter 1st level	Chapter 2nd level			ICD-11 V章コード		
			コーディング① (③に指導を受けた医療関係者)	コーディング② (③に説明を受けた医療資格職)	コーディング③ (専門家)			
運動項目	セルフケア	食事 (口に運ぶ・かき集める・飲み込むところから、咀嚼・嚥下まで、配膳・下膳の動作は評価の対象にならない)	b	5 セルフケア	d550	d550	d550	VA22
			d	5 消化器系・代謝系・内分泌系の機能	d560 b510	d560 b510	d560 b510	#N/A VA20
		整容 (口腔ケア・洗顔・手洗い・整髪・化粧/髭剃りの5項目を採点し、平均点を出す)	d	5 セルフケア	d510 d520	d510 d520	d510 d520	VA20 VC30
			d	5 セルフケア	d510	d510	d510	VA20
		更衣(上半身) (腰より上の更衣・および装着している場合には、義肢または装具の着脱も評価。実際の評価動作は、着る・脱ぐという動作)	d	5 セルフケア	d540	d540	d540	VA21
			d	5 セルフケア	d540	d540	d540	VA21
		トイレ (衣服の着脱やお尻を拭く動作で評価)	d	5 セルフケア	d530	d530	d530	VC31
	排泄	排便コントロール (タイミングよく括約筋を緩められるかを評価。失敗の頻度で点数が変わるが、ここでの失敗は失禁ではなく、汚したものを片付ける手間のことを指す)	b	5 尿路・性・生殖の機能	b620 d530	b620 d530	b620	VB90
			d	5 セルフケア				
		排便コントロール (タイミングよく括約筋を緩められるかを評価。汚したものを片づけをどれだけ手伝えるかも判断のポイント)	b	5 消化器系・代謝系・内分泌系の機能	b525 d530	b525 d530	b525	#N/A
			d	5 セルフケア				
	移乗	ベッド、椅子、車椅子 (ベッド・椅子・車いす間でのすべての往復の移乗で評価。歩行が移動手段である場合は起立動作も含まれる)	d	4 運動・移動	d420 d410	d420 d410	d420 d410	VC20
			d	4 運動・移動 5 セルフケア	d420 d530	d420 d530	d420	VC20
		トイレ (便器への移乗を往復で評価)	d	4 運動・移動	d410	d410	d410 d420	VC20
移動	浴槽・シャワー (浴室への出入りを評価。浴槽なら中に入って出るまで、浴槽をまたぎ越す、浴槽で沈む、つかる)	d	4 運動・移動	d410	d410	d410	VC20	
		歩行・車椅子 (立位なら歩行、座位なら車いすでの移動で評価。入院時と退院時の移動手段をチェック)	d	4 運動・移動	d450 d465	d450 d465	d450 d465	VA14 VC22
階段 (屋内の12~14段の階段で評価。昇降で結果に差が出る場合は低い方で判断)	d		4 運動・移動	d455	d455	d451	#N/A	
認知項目	理解 (言葉聞き分けるところまでを評価する)	d	3 コミュニケーション	d310	d310	d310 d315	VA04 VC22	
		d	3 コミュニケーション	d330 d335 d340 d345	d330 d335 d340 d345	d330 d335 d340 d345	#N/A	
	社会的交流 (周囲と関わる際の行為・動作をすべて評価)	d	7 対人関係	d710 d720 d730 d740 d750 d760	d710 d720 d730 d740 d750 d760	d710 d720	VC50	
		d	1 学習と知識の応用	d175	d175	d175	VA02	
	社会認識	問題解決 (日常生活で起こりうる金銭的・社会的・個人的な問題について、合理的な対応が出来るかを評価。人の手を借りることが正しい判断である場合、それは介助とみなさない)	d	1 学習と知識の応用	d175	d175	d175	VA02
			b	1 精神機能	b144	b144	b144	VA01
		記憶 (日常的に行うことを覚えている・よく会う人が分かる・他者からの依頼を実行することの3ポイントから評価)	b	1 精神機能	b144	b144	b144	VA01

*FIMによる評価マニュアルも参照して判断する

ICD-11 (Foundation) [Register] | [Log In]
 Last Update: Sep 05

Search [Advanced Search]

ICD-11

- ▶ Certain infectious or parasitic diseases
- ▶ Neoplasms
- ▶ Diseases of the blood or blood-forming organs
- ▶ Diseases of the immune system
- ▶ Endocrine, nutritional or metabolic diseases
- ▶ Mental, behavioural or neurodevelopmental disorders
- ▶ Sleep-wake disorders
- ▶ Diseases of the nervous system
- ▶ Diseases of the visual system
- ▶ Diseases of the ear or mastoid process
- ▶ Diseases of the circulatory system
- ▶ Diseases of the respiratory system
- ▶ Diseases of the digestive system
- ▶ Diseases of the skin
- ▶ Diseases of the musculoskeletal system or connective tissue
- ▶ Diseases of the genitourinary system
- ▶ Conditions related to sexual health
- ▶ Pregnancy, childbirth or the puerperium
- ▶ Certain conditions originating in the perinatal period
- ▶ Developmental anomalies

ICD-11 Main

Welcome to the

IMPORTANT! T released version

For the latest rel

You need to cre by following the [Register](#)

Please note that

Caveats

- The audie
- **The classi platform**
- For the lat

Advanced Search

Search Text:

Please check the properties that you'd like to include in the search

[Check All] [Uncheck All]

<input checked="" type="checkbox"/> Title	<input type="checkbox"/> Intent
<input type="checkbox"/> Synonym	<input type="checkbox"/> Mechanism of Injury
<input type="checkbox"/> Narrower Term	<input type="checkbox"/> Object or Substance Producing Injury
<input type="checkbox"/> Fully Specified Name	<input type="checkbox"/> Place of Occurrence
<input type="checkbox"/> Description	<input type="checkbox"/> Activity when Injured
<input type="checkbox"/> Additional Information	<input type="checkbox"/> Substance Use
<input type="checkbox"/> Inclusion	<input type="checkbox"/> Children and Youth Impact
<input type="checkbox"/> Exclusion	<input checked="" type="checkbox"/> Communication Impact
<input type="checkbox"/> Body Site	<input checked="" type="checkbox"/> Interpersonal Relations Impact
<input type="checkbox"/> Body System	<input checked="" type="checkbox"/> Household Activities Impact
<input type="checkbox"/> Histopathology	<input checked="" type="checkbox"/> Life Management Activities Impact
<input type="checkbox"/> Signs and Symptoms	<input checked="" type="checkbox"/> School Activities Impact
<input type="checkbox"/> Investigation Findings	<input checked="" type="checkbox"/> Work Activities Impact
<input type="checkbox"/> Causal Agents	<input checked="" type="checkbox"/> Mobility Impact
<input type="checkbox"/> Causal Mechanisms	<input checked="" type="checkbox"/> SelfCare Impact
<input type="checkbox"/> Genomic Characteristics	<input checked="" type="checkbox"/> Social Participation Impact
	<input checked="" type="checkbox"/> Understanding Impact

Search

progress in between

posals or comments

in this 

Related Information

☒ ICD-11 Advanced Search による生活機能に関する項目(impact)